

No.261

2022年  
6月号

# さくらの

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館  
〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

## 展示のご案内

展示期間 6月23日(木)まで

★メイン展示

### 「雨の日はおうちで」

梅雨の季節となりました。雨でジメジメ憂鬱な気分になりがちですが、発想転換し、雨の季節を楽しんでみましょう。

- ・おうちでスイーツ🍪
- ・おうちでエクササイズ
- ・おうちであそぶ

という3つのコーナーを設けました。



●メイン展示図書(抜粋)

「思わず見とれるゼリースイーツ」「絵本のお菓子」  
「ラクやせ寝トレッチ」「中高年のスロトレ決定版」  
「おうち遊びのワンダーランド」「ねんどのカフェ」

★サブ展示

### 「名作絵本を読み聞かせ」

長く読まれる本には読み手の心をとらえる何かがたくさん詰まっています。その何かを子どもに読み聞かせしながら見つけてみませんか。

●サブ展示図書(抜粋)

「はらぺこあおむし」「ノンタンおねしょでしょん」  
「ねないこだれだ」「だるまちゃんとてんぐちゃん」

## 寄贈いただきました

★図書カードの寄贈

国際ソロプチミスト幡多から図書カード3万円分を寄贈していただきました。

購入させていただいた図書は、新着コーナーに展示後、2階の「国際ソロプチミスト幡多文庫」に配架いたします。

★図書の寄贈

富山房インターナショナル(代表取締役 坂本喜杏氏)より「ジョン万次郎 琉球上陸物語」を含む計8冊と、青少年交友協会(理事長 森田勇造氏)より「日本人が気づかない心のDNA」を含む計10冊をそれぞれ寄贈していただきました。ありがとうございました。大切に利用させていただきます。



## 祝日開館のお知らせ

4月1日より祝日開館をしている坂本図書館では、7月18日(月・祝)も開館します。

その代わりに翌日7月19日(火)は休館となりますのでご注意ください。

## 読み聞かせを再開しました



図書館では毎週水曜日15時30分から16時30分までの間、子どもたちに読み聞かせを行っています。長い間お休みしていましたが6月8日(水)から再開しています。



マスクの着用、検温の実施、手指消毒など感染対策を行ったうえで開催しておりますので、みなさまのお越しをお待ちしています。

## 読んでみませんか？

### -新着図書のご案内-

(一般)

#### パイパイ・ママイヤ

乗代雄介 著  
小学館

SNSで出会い、誰もいない木更津の干潟で待ち合わせをしたパイパイ（父が嫌い）とママイヤ（母が嫌い）。2人はお互いの存在に居心地の良さを感じ、たびたびそこで会うように。そんなある日、写生をしている小学生の先客がいて…。

悩みを抱えた17才の少女二人が誰もいない干潟で非日常を過ごすうちに打ち解けあい、前に進んでいく心情が風景とともに描かれたひと夏の物語。目を引く装丁のさわやかな黄色の意味も、読んでいくうちに分かってきます。

(児童)

#### ぼうやはどこ？

アン・ハンター 作  
橋本あゆみ 訳  
化学同人

パパがさがしているぼうや、いったいどこにいるのでしょうか？パパが、いろいろな動物たちに聞いていますが、なかなかみつかりません。一緒にさがしてみましよう。みつかるかな？

ぼうやを、ぜひ親子で楽しんでみつけてみてください。

(一般)

#### 今日のうどん 飽きないおいしさ65品

満留邦子 著  
成美堂出版

釜玉うどん、焼きうどん、みそ煮込みうどん。どれも美味しそうです。

手打ちうどんの打ち方、手作りのめんつゆとだし汁の作り方が紹介されています。ぜひ、ひと味違ううどんをおうちで作ってみませんか？

いろいろなうどんの作り方が65品掲載されていますので、今日はどうどんにしたいなと思った時にピッタリ!!

(児童)

#### みんなが知りたい！ プランクトンのふしぎ

「プランクトンのふしぎ」編集室 著  
メイツユニバーサルコンテンツ

プランクトンといえば、「微小な生物」を想像しますが、刺されると痛いクラゲも実はプランクトンの代表なのです！

そんなプランクトンの生息地や生態、体の構造など豆知識とともに紹介。

ふだん肉眼ではなかなか見ることができないプランクトンの世界をたっぷり味わえる1冊です。

※本の紹介文は、スタッフが作成しています。

## 宿毛ショートストーリー 迷子の本 松澤まり子

仕事は終わったが、Yはすぐ家に帰りたくない気持ちだったので海に来てみた。海風公園に行き、車を止めて降り波止場に近寄ると海の匂いがした。5月のさわやかな風が顔に当たり、あ、気持ちいいな、と今日初めて思った。前にここに来たのは何年前かの花火大会で別れた彼と一緒にだった。空はうっすらピンク色に染まっている。日が長くなってきた。足元のセメントの下には海の青色があり、ぼつりぼつりと停泊している船の間をゆらゆらと青緑色の水面が揺れている。今日はいいお天気だった。なのに…。

Yの気持ちは憂鬱だった。明日また仕事でMに会う。YはMが入社したての頃から少しばかり苦手だった。会社内で先週始まった同じプロジェクトの仲間になり会議や仕事を一緒にしていくうちに今日という今日は本当に嫌いだ、などと感じてしまったYは、自分はなぜこんな性格なんだろう、自分はひとと争うのが嫌いと言いたいとも言えず、ひとに嫌味などを言われても返すことさえできない、なぜだろう、と、また更に自分を責めてしまうのだ。

ぼんやりと立っているのも何なのでYはコンクリートの階段のようになっている防波堤に腰かけた。意外と夕方の公園内には人がいた。犬を連れて散歩している男性やウォーキングをしている数人の女性たち、2人連れの子供たちだろうか、明るい声で笑い合いながら自転車を押してYの後ろを通りすぎて行った。Yは空を見上げた。薄紫色の夕暮れ時の空の中、少しばかりの雲が流れていく。しばらくそうしていたが首が痛くなってきて穏やかな海に向き直った。やれやれ、そろそろ帰ろうかと思い始めた時、座っている階段の端のほうに赤い四角いものが目に入った。何だろう？

Yは立ち上がって赤いものの方に近づいた。そばまで行くとそれは一冊の本だということに気がついた。朱色とベージュと白と黒のおしゃれな感じのカフェのイラストが表紙になっていて『ミッテランの帽子』というタイトルの本だった。

ミッテランって昔のフランスの大統領だっけ？手にとってみると[宿毛市立坂本図書館所蔵]という判が押されていることに気がついた。誰かがここで本を読んで忘れてしまったのだろうか。新品の本のようでそうでもないような？幸いこのところ雨は降っていないし。でも忘れて行ったのは今日かもしれない？ばらばらと本をめくってみた。なんだか懐かしい感じがした。そういえば最近本を手にとっていなかっ

た。紙も優しく、途中、人魚のようなイラストもある。面白そう。Yはしばらく階段に座ったままその本を読んでみた。気がつくやうに薄暗くなってきて、あわててYは立ち上がり車に向かった。図書館にこの本を持って行かないか。公園は人気なくなっていて灯りが点り始めていた。図書館って何時までやっているんだっけ？と思いながらYは車を走らせた。そういえば図書館にもここ最近行ってない。

図書館はもう閉まっていたのでブックポストに本を滑り入れた。続きが読みたくなり買い物がてら本屋に行き探したがなかったので残念だった。ネットで買えることは買えるけれど図書館でその本を借りよう、と思った。晩御飯を作りながら本の続きを想像したりしてその夜は過ぎていき、鬱々としていた気持ちはすっかり忘れていた。

それから2週間ほどしてからプロジェクトも無事終わった。いつの間にかMに対するわだかまりのようなものも消えていた。

やっと図書館に閉館前に行けたので外国文学の棚に向かい朱色の背表紙を探した。あったあった。Yは本が無事、書棚にあるのを見て嬉しかった。この本は海のそばに置かれてあったんですよ、わたしが返しました、などとカウンターの方に話しかけてみたかったがやめた。

家に帰りテーブルに借りてきた数冊の本を置き、まず『ミッテランの帽子』を手を取った。海風公園でしたようにばらばらとめくると、白い小さな紙が入っていることに気がついた。和紙だろうか。一筆箋の折りたたんだその紙を開くと「この本を見つけて下さいましてありがとうございます。万が一の確率で拾ってくださった方が読んでくれているかもしれないかと思ひまして書いています。公園でうっかり落としてしまいました。気がついてから公園に行っただけでなくて図書館に行き、ちゃんとあったのを見てほっといたしました。とても良い本ですよ」話しかけるような文章はそこで終わっていた。濃紺の万年筆で書かれたきれいな筆跡だった。年配の方だろうか。女のひとだろうか？男のひとだろうか？海風公園で本を読む見知らぬ人の姿を想像した。

その夜、Yは何だか温かい気持ちでベッドに入り本を読み始めた。夢中になって読むうちにそのまま寝てしまった。朝、目が覚めると電気もつけっぱなしだったことに気づいた。手のそばにある開いたままの本のページの一文が目に入った。

「失くされたものが

どうか見つかりますように」

## ～新着図書のご紹介～

### 一般図書



- 0 「攻撃される知識の歴史」  
リチャード・オヴェンデン
- 2 「るるぶ四国」
- 3 「田中角栄がいま、首相だったら」 田原総一郎
- 3 「日本がウクライナになる日」 河東哲夫
- 3 「子どものための居場所論」 阿比留久美
- 3 「失われゆく娯楽の図鑑」 藤木TDC
- 3 「土佐すくも人」 三元社
- 4 「夜、寝る前に読みたい宇宙の話」 野田祥代
- 4 「今日から減酒！」 倉持穰
- 5 「自動車業界のしくみとビジネスがこれ1冊で  
しっかりわかる教科書」 GB自動車業界研究会
- 5 「本当に心地いい部屋」 筆子
- 6 「はじめよう！観葉生活」
- 6 「船旅の文化誌」 富田昭次
- 7 「ヒロスエの思考地図」 広末涼子
- 7 「スポーツ毒親」 島沢優子
- 9 「今日を楽しく生きる」 瀬戸内寂聴
- 9 「マイクロスパイ・アンサンブル」 伊坂幸太郎
- 9 「まっとうな人生」 絲山秋子
- 9 「孤蝶の城」 桜木紫乃
- 9 「剣持麗子のワンナイト推理」 新川帆立
- 9 「パパイヤ・ママイヤ」 乗代雄介
- 9 「花散る里の病棟」 帯木蓬生

※左側の数字は図書の分類を表しています。

0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学  
5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

### 児童図書



- 「捨てないパン屋の挑戦」 井出留美  
「この世界からサイがいなくなってしまう」  
味田村太郎
- 「りんごの木を植えて」 大谷美和子
- 「風の神送れよ」 熊谷千世子
- 「ボイラーのひみつ」 おぎのひとし
- 「ないしょの五日間」 岡田淳
- 「本おじさんのまちかど図書館」  
ウマ・クリシュナズワミー
- 「建築家になりたい君へ」 隈研吾
- 「セカイを科学せよ！」 安田夏菜

### 絵本



- 「おすしやさんにいらっしやい！」 おかだだいすけ
- 「111本の木」 リン・シン
- 「ジェニーのぼうし」 エズラ・ジャック・キーツ
- 「すずばあちゃんのおくりもの」 最上一平
- 「戦争をやめた人たち」 鈴木まもる
- 「た」 田島征三
- 「せかいのくににいただきます！」 野村たかあき
- 「ぼうやはどこ？」 アン・ハンター
- 「あるひくじらがやってきた」 ニック・ブランド
- 「かえるのほんや」 やぎたみこ

★このほかにもたくさんの図書が入っております。

図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、  
そちらもぜひご覧ください。

### 6月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

### 7月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日・祝 10:00～18:00

ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>

メールアドレス [tosyo@city.sukumo.lg.jp](mailto:tosyo@city.sukumo.lg.jp)

は休館日



【図書館HP】

